

いずもぎき

議会だより

2015
第87号
平成27年4月22日



3月定例会

もくじ

・平成27年度予算	2
・予算審査特別委員会	4
・臨時会、議会のうごき	5
・3月定例会	6
・全員協議会・政務活動費	8
・一般質問（4人が町政をたたく）	10
・町民の声	14

ひまわりハウス完成見学会
子育ての春 満開！

平成27年度予算はこうなる！

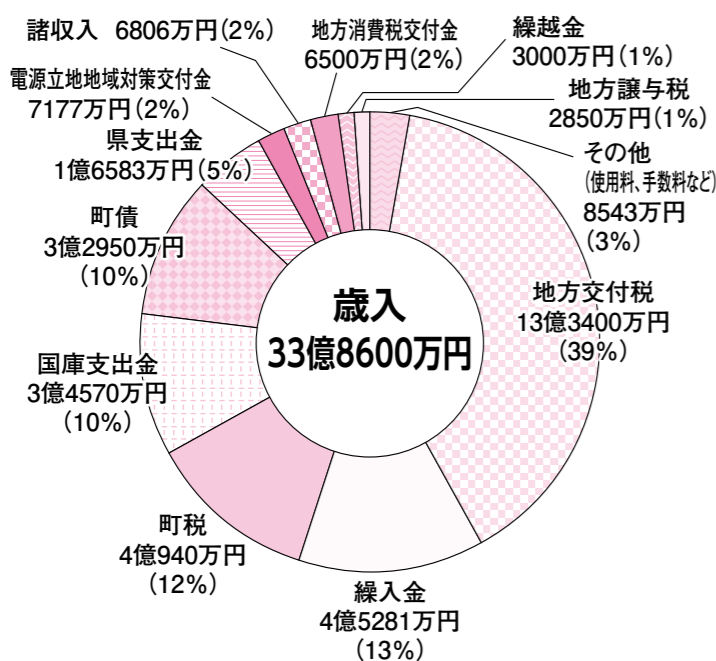
子育て・教育環境の充実 防災対策強化も

平成27年度 当初予算 53億8130万円 前年度比0.1% 670万円増

一般会計 33億8600万円
特別会計 19億9530万円

前年度比 1.9% 6300万円増
前年度比 △2.7% 5630万円減

一般会計の主な事業



中学校校舎棟アスベスト除去事業
5404万円



アスベストが確認されたボイラー室

小学校体育館床張替事業
4200万円



老朽化した床

消防ポンプ自動車購入
大型1台小型2台 1765万円



同タイプの大型消防ポンプ車

平成27年度一般会計・特別会計当初予算は、慎重審議の結果、全会一致で可決いたしました。

町営集合住宅建設事業(継続)
9426万円



子育てにやさしいひまわりハウス

出雲崎消防分遣所建設事業(継続)
1億217万円



建設中の分遣所

特別会計

会計名	平成26年度	対前年度増減額	増減率
国民健康保険事業	6億4300万円	5200万円	8.8%
介護保険事業	7億400万円	△3300万円	△4.5%
後期高齢者医療	5790万円	△120万円	△2.0%
簡易水道事業	2億1590万円	△1億40万円	△31.7%
特定地域生活排水処理事業	1790万円	△30万円	△1.6%
農業集落排水事業	1億3630万円	△280万円	△2.0%
下水道事業	2億980万円	2260万円	12.1%
住宅用地造成事業	1,050万円	680万円	183.8%
計	19億9530万円	△5630万円	△2.7%

※表示単位未満の端数整理により、合計と一致しないことがあります。

ここが聞きたい!!

予算審査特別委員会

3月定例会において一般会計及び特別会計は予算審査特別委員会に*付託して審議しました。
委員会での主な質疑内容を掲載します。



仙海委員長



諸橋副委員長

人事評価制度

研修委託料

34万円

Q 委託内容は。また、目標設定型の評価にするべきではないか。

中川 正弘 議員

A 役場職員の評価者と被評価者の研修費が主なもので、目標を定めて行う業績評価と能力評価の二つを合わせて行います。

発達障がい者児 支援者研修会報償

2万円

高桑 佳子 議員

Q 研修を受ける対象者は誰か。一般の人にも研修の機会を提供するべきと考えるが。
A 保育園の保育士、児童クラブの指導員、小学校の先生等です。

一口メモ

付託とは
議案の審査を本会議の議決に先立ち、他の委員会などにゆだねること。

海浜清掃事業委託料

500万円

加藤 修三 議員

Q 昨年度より減額されているが、海岸の汚れが目立つので増額するべきでは。

A 現段階では国の補正予算が入っていませんが、補正が付くことも考えられるので今後対応したい。



清掃が待たれる海岸

自主防災組織 活動報償

48万円

三輪 正 議員

Q 組織が生かされていないので、行政区長会議等で周知を願いたい。また、消防団との連携を行うべきではないか。

A 消火等の火災に関する連携はあるが、避難に関する連携は今のところ無いので今後、検討します。

除雪委託料

1050万円

諸橋 和史 議員

Q 今後の委託先と運転手の見通しは。
A 委託事業者のほか、町として3名の除雪作業員(運転手)を臨時に雇用しています。

出雲崎ストリート ジャズ開催補助金

120万円

中川 正弘 議員
宮下 孝幸 議員

Q 昨年度より増額されているが、費用対効果など過去の検証を行っているのか。

A 今年度は5周年で広く行うための増額です。費用対効果については、今後、実行委員会と検証しながら進めていきます。



26年度 雨天のため体育館で実施

第1回臨時会

会期 1月23日

平成26年度 一般会計補正予算(第6号)

会計	補正額	補正後の予算額
一般会計(第6号)	390万円	34億6544万円

主な歳入

主な歳出

・公共土木施設災害復旧費負担金… 579万円 ・除雪委託料追加……………300万円

契約締結

出雲崎消防分遣所建設工事

金額	1億9116万円	相手方	東北工業株式会社
----	----------	-----	----------

第2回臨時会

会期 2月26日

ホッと情報館陽だまり設置及び管理に関する条例制定



第4回臨時会

会期 3月27日

契約締結

小学校体育館照明等落下防止工事

金額	6588万円	相手方	東北工業株式会社
----	--------	-----	----------

31	27	25	23	20	17	14	12	11	10	3	26	23	20	16	23	20	9	8	6						
議会報特別委員会(議会だより第87号)	第4回臨時会	議会運営委員会	議会報特別委員会(議会だより第87号)	第3回全員協議会	定例会最終日	議会運営委員会	予算審査特別委員会	東京出雲崎会総会(東京)	議会報特別委員会(議会だより第87号)	定例会2日目(一般質問)	総務文教常任委員会	社会産業常任委員会	第3回3月定例会招集日	議会運営委員会	第2回臨時会	議会運営委員会	新潟県町村議会議長会定期総会(新潟市)	第2回全員協議会	議会運営委員会	第1回臨時会	議会運営委員会	第1回全員協議会	社会産業常任委員会	議会報特別委員会(議会だより第86号)	議長会議(新潟市)

(平成27年1月～3月)

議会のつどひ (主なもの)

3月定例会

会期 3月10日～20日
(11日間)

地方創生事業に4194万円

一般会計補正総額 7781万円

プレミアム商品券発行事業 1210万円



7月頃を目途に発行予定

子育て支援拠点事業 684万円



ふれあいの里でちびっこ広場を開設します

町屋を生かした都市交流事業 400万円



稲荷町の旧津又邸を改修します

観光拠点づくり事業 595万円



陽だまり館の備品を購入

* 3月定例会で決まった補正予算* (△は減額)

会計	補正額	補正後の予算額
一般会計(第7号)	7781万円	35億4325万円
特別会計		
国民健康保険事業(第3号)	△ 259万円	6億2983万円
介護保険事業(第3号)	△ 3048万円	7億3718万円
簡易水道事業(第4号)	△ 1864万円	3億910万円
特定地域生活排水処理事業(第1号)	△ 10万円	1810万円
農業集落排水事業(第2号)	△ 16万円	1億3900万円
下水道事業(第2号)	△ 459万円	1億8270万円
住宅用地造成事業(第1号)	306万円	676万円

議案35件を
全会一致で可決
・陳情1件を採択
・意見書1件を可決

一般会計補正予算(第7号) (△は減額)

主な歳入	主な歳出
・地方交付税追加……………8632万円	・空き家管理システム整備委託料……………486万円
・学校施設環境改善交付金……………2693万円	・障がい福祉サービス費追加……………300万円
・ふるさと納税寄附金追加……………1024万円	・小学校体育館照明等落下防止工事…7860万円
・財政調整基金繰入減……………△1億457万円	・ふるさと出雲崎応援基金積立追加…1024万円
・小学校体育館照明等落下防止事業債…2820万円	

人事案件

教育委員会教育長の任命に同意

佐藤 亨氏(尼瀬)
(平成27年4月2日から3年間)

陳情

J A改革に関する陳情書(平成26年次分)

採択に決定

可決した意見書

農協改革に関する意見書

提出先 衆議院議長、参議院議長
農業水産大臣、規制改革担当大臣

3月定例会での陳情等審議結果

議案等	議員名	議決結果	山崎	三輪	宮下	中野	中川	高桑	田中	仙海	加藤	諸橋
J A改革に関する陳情書		可	—	賛	否	賛	否	賛	賛	賛	賛	賛
農協に関する意見書		可	—	賛	否	賛	否	賛	賛	賛	賛	賛

意見が分かれた審議結果のみ掲載しています

※山崎議長は採決に加わらない

指定管理

出雲崎町保健福祉総合センター ふれあいの里

- ・出雲崎町保健福祉センターは
社会福祉法人 出雲崎町社会福祉協議会に指定
- ・出雲崎町デイサービスセンターは
社会福祉法人 中越老人福祉協会に指定

ホッと情報館 陽だまり

- ・ホッと情報館陽だまり管理協議会に指定

※いずれも平成27年4月1日から平成30年3月31日までの3年間

可決した条例改正(主なもの)

- ◆ 出雲崎町特別職の職員で非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ◆ 行政区域長の年額報酬等の引き上げ
- ◆ 出雲崎町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正
- ◆ 団員の年額報酬等の引き上げ
- ◆ 出雲崎町介護保険条例の一部改正
- ・平成27年度から平成29年度までの第6期事業期間の保険料を定めるもの。

全員協議会

主な質疑について報告いたします。

第1回 1月9日

**ふるさと応援寄付金
過去最高額を記録**

総務課長 平成26年分は総額で一千万を超え、制度が始まって以来の最高額となりました。

田中議員 自治体のお返しに工スカレットしている。当町は特産品を送っていると聞くが、町長はどのように考えているか。

町長 高価なお返しはふるさと納税の本来の趣旨を逸脱すると思います。出雲崎を愛し、応援して下さいの方に、ささやかだが感謝の意を含め、汐風米などをお送りしています。

駅前拠点施設 入札結果

産業観光課長 二階に男女別トイレを設置するよう変更しました。入札の結果、請負業者は長岡市のダイエープロビス株式会社となりました。

仙海議員 当初の建築工事予定金額より少ないが、なにか内容に変更があるのか。

産業観光課長 入札価格で下がったもので、トイレの追加以外に基本計画はそう変わっていません。

宮下議員 坪数で割ると72万以上と高額であるが、何の工事にこれだけの金額がかかるのか。

産業観光課長 基礎について、敷地が狭い等から特殊な工法を使っているためです。

引き続き厳しいバス路線状況

総務課長 柏崎駅出雲崎車庫間の路線バス運行について、国庫補助採択要件の一日あたり輸送量15人が満たなくなってきたおり、今後、代替えとして県単補助の申請をしております。当町と柏崎市、刈羽村で補助金残額を財政力指数に応じて負担することになり、厳しい状況ではあるが維持していきたい。また、長岡駅線については引き続き国庫補助の対象となるが、厳しい状況が続いています。

仙海議員 日赤経由のバス等、高齢者が利用される時間帯にノンステップバスの運行を要望してもらいたい。

ブランド米のネーミング

中川議員 以前は潮風の当たるところに干して、「汐風米」と言ったが、現在は六郎女地区で作っている。住民から指摘されることもあるが、町長

第2回 2月23日

**平成26年度国の補正予算
事業案**

はどのように考えているか。
町長 海の出雲崎で作ったおいしい米を「汐風米」というブランドで考えています。

総務課長 国から、「地域住民生活緊急支援のための交付金」が配分されます。本町では、子育て・定住・産業の活性化・交流人口の拡大をテーマに事業を選定しました。

三月定例会補正予算として審議いただきたいと思います。

空き屋対策条例化は

宮下議員 空き屋家屋については条例を作って進めるべきと考えるがどうか。

総務課長 国において法整備がなされ、当町も条例制定を考えていますが、相続問題等課題もあり、検討が必要です。

既存の観光施設と 「にっしん」なごのか

宮下議員 駅前の観光拠点と既存の海岸地区の観光施設等とどのようにつなげていく考えか。

町長 出雲崎の歴史・文化を積極的に発信し、妻入りの町並みを活かして出雲崎らしさをアピールして、積極的な誘客活動を展開していきたいと思えます。

「課」を横断した 柔軟な行政組織体制

総務課長 地方創生に向けた横断的・長期的な行政組織とするため、現在の「課」を横断して「室」を設置し、柔軟な組織体制といたします。

旧瀬川グラウンド 3月太陽光発電開始

総務課長 全体計画の一部ですが、太陽光発電について事

第3回 3月20日

**エコパークいずもぎの
地域振興策は**

業者である大倉産業が、3月末からの発電開始予定で設置を始めています。今後、小型風力発電を27年度中に設置したいとの意向です。

町民課長 地域振興費の交付金の総額は、今後16年間で15億5千万円の予定です。

三輪議員 跡地利用の太陽光発電の進捗状況はどうか。

町民課長 平成28年2月に発電開始予定で進んでいるとのこと。



エコパーク跡地利用（イメージ）

◆議会基本条例に基づき政務活動費を公表します

平成26年度 政務活動費報告

(単位：円)

議員氏名	交付額	支出内訳				合計	返納金
		調査研究費	研修費	資料購入費	事務費		
山崎 信義	60,000	30,014		46,116	1,350	77,480	0
三輪 正	60,000	30,014		37,116	2,484	69,614	0
宮下 孝幸	60,000	30,014		24,634	5,825	60,473	0
中野 勝正	60,000	30,014		9,000	21,669	60,683	0
中川 正弘	60,000	30,014		49,764	3,434	83,212	0
高桑 佳子	60,000	30,014	1,000	46,116	7,940	85,070	0
田中 政孝	60,000	30,014		44,040		74,054	0
仙海 直樹	60,000	30,014		77,844	5,634	113,492	0
加藤 修三	60,000	30,014		9,000	21,422	60,436	0
諸橋 和史	60,000	30,014		37,116	1,664	68,794	0

※月額5,000円×26年度活動月数（12カ月）で交付

追跡

[第4回]

あの質問は
その後どうなった

議員が行なった質問の一部を取り上げ、その後の経過を追跡しました。

平成26年12月議会 一般質問

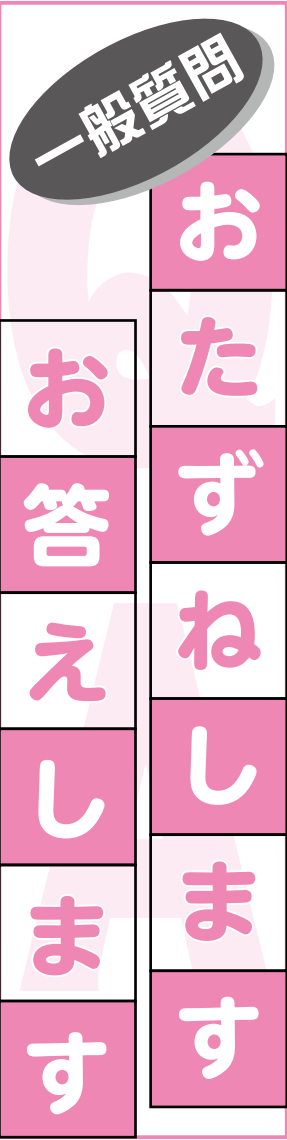
質問 定住対策として同級会の地元開催に対して助成をしている町村がある。

当町でも中学校卒業後、同級会を開催する卒業生は多いが、会場は弥彦、湯沢等で町内の開催は少ない。町の活性化、定住促進のためにも町内開催の同級会に経費の助成をすべきと考える。

町長 還暦、古稀など人生の節目を当町で開催するよう積極的に応援します。新年度から予算計上をしたい。

結果

27年度より町内で開催される同級会・同窓会費用に一人当1000円を補助する。参加者10人以上で、そのうち町外在住者が3割以上必要。(上限3万円)
さらに還暦、古稀などのお祝い補助に一人当1000円を追加する。(上限3万円)



定住促進策と 土地活用について

町長 特定はしていない



宮下 孝幸議員

新たな居住環境の 掘り起しを

質問 当町も保育料の軽減や放課後保育の対象拡大、あるいは子供育成支援金の交付など、様々な取組みが成されていますが、酷似した取組みは他の自治体にもみられます。今後更なる取組みの掘り起しが必要と思いますが、町長の所見を伺います。

当町なりの促進策を

答弁 当町の支援策は県内

集約したニーズを把握 しては

質問 近年、民間のアパート経営は大変な窮地にありま
す。
そこで、我々目線だけでなく、実際に当町に住まいする子育て世代の方々の意見集約をしてはどうですか。

ご意見の通りではあるが

答弁 民間と町が行うアパートの考え方は基本的・質的に
違います。

集合住宅の形式は初めて

ですから、入居された方々から、直ちに利便性など、多岐のご意見をお聞きしながら次なる対処を当然やっていきます。

土地活用を

質問 自治体の経営する集合住宅の失敗事例は全国に多く存在します。

集合住宅で定住を促進するには、やはり土地とセットとする事が大変重要です。

当町の分譲地も平成3年から幾度かに渡り行われてきましたが、川東地区には、町の開発計画により、八手方面に延びる農振法を外した農地が

あります。
ここを活用して「ひまわりハウス」の定住につなげてはどうですか。

現段階で特定はしていない

町長 何々地域と言う特定した事ではなく、環境なり提供可能な所なり、地質や交通の利便性などの諸条件を検討して考えていきます。

かくあってかくあるべきだと言う時代ではなく、新しい時代感覚の条件で、住んでもらえる事を考慮しながらやっていきます。

現在、特定の地域を決定したと言う事はありません。



完成が待たれる『ひまわりハウス』

健康マイポイント制度の実施を

町長

自主的健康増進と疾病予防を進める



三輪 正議員

質問 健康で長寿な生活をすることは、町民全員の願いであります。各市町村では、健康増進と財政負担の改善を達成するために、さまざまな事業を実施しております。本町の現状と今後の取り組みについて二点について伺います。

①医療費抑制の指導について

質問 健康で長寿な人生を過ごすことは非常に大事であります。平成23年3月議会でも一般質問で健康増進について質問いたしました。健康診断は年一回は必ず受けるように促進していただきたいという質問でした。

医療費は平成21年は一人当31万円、24年には38万円と増

加しています。国民健康保険と介護保険特別会計へ一般会計から約1億9000万円支出しています。また健康寿命を伸ばす事は大事であります。健康面、財政面で努力されておりますが具体的な指導についてお聞かせください。

健康寿命アップ大作戦を展開する

町長 町民の疾病予防、健康づくりの促進には力を入れております。医療費抑制の指導については国民健康保険は一人当35万円、後期高齢者医療保険72万円と増加しています。

健康診断等による疾病の早期発見、早期治療が重要です。また、レセプトや検診データを活用した、きめ細かい保健指導とCKD対策事業を重点的に進めてまいります。

②健康アップに動機づけを

質問 健康診断受診、スポーツ、足腰達者クラブ参加、ウォーキングなどに参加する動機づけと特典に「健康マイ

ポイント制度」の実施を検討すべきと考えます。県内外の多くの市町村で、ポイントにより地元の商品券や健康グッズを支給して、健康づくりと地域の活性化を図っておりますが、当町の導入の考えはありませんか。

より効果の上る方法を検討

町長 25年度に「出雲崎健康マイレージ」として、毎日の

運動や健康診査などの健康目標を達成した人に対して、記念品贈呈などの事業を実施したが参加者が少なかった。国も健康アップにポイント付与や現金給付が、保健事業の中で実施できるよう明確化しました。

より効果の上る実施方法を充分検討し、町民の方の自主的健康増進、疾病予防を進めてまいりたいと思います。



出雲崎町の農林水産業について

町長 それぞれに対応していく



諸橋 和史議員

農業について

質問 政府は、規模拡大、コスト削減、農政改革などを発表しています。

当町は水稲依存度が高く、生産現場では昨年度産の米価下落や生産コスト上昇に加え、米政策の見直し、TPPをめぐる状況など、来年度以降の再生産をどう考えていいのか農業者は困惑しています。

当町の適正な経営規模、集落営農の推進、加工用米、飼料用米、発酵粗飼料などの考え方をお聞きます。

町長 町の農業規模については国の政策もありますが、小規模でもやっていける人もいます。集落営農は今後も推進してまいります。

また、加工用米、飼料用米

林業について

も27年度予算で盛り込み、今後研究しながら推進してまいります。

発酵粗飼料についても農業者の要望があり次第、対応してまいります。

質問 当町は山林が6〜7割を占めています。間伐材などを利用したバイオ燃料、バイオ発電などについての考え方をお聞きます。

町長 町も林業政策は大切に思い、27年度に間伐予算を計上しております。今後多方面から、間伐材材木の利用を研究していきたいと思えます。



春を待つトラクター

漁業について

質問 漁獲量の減少、魚価の低迷、漁業者の減少、燃料の高騰などにより今後の漁業経営は困難に思われます。町の対応策をお聞きます。

町長 町としては、港の堆積土の問題、ヒラメ・アワビなどの放流、さかな祭りなどで対応しています。

また、燃料の要望があれば対応していきたいと思えます。

農家民泊について

質問 農家民泊の考えをお聞かせください。

町長 民泊と民宿の違いがあり、消防、保健所等の許可申請が必要となります。

4月から中野議員が、民宿許可を受けます。

今後、拡充していくのか見守りながら対応していきたいと思えます。



荒れた山野

義務教育終了後の 進学者支援について



高桑 佳子議員

町長

Uターン者に奨学金の返還支援を検討する

質問 当町において、義務教育までの子どもたちには、多くの支援策が用意されておりますが、中学校卒業後の支援は少ないのが現実です。

地方創生総合戦略のなかで、人口減少対策とからめて子育てや若者の支援策が重要課題とされています。義務教育終了後の進学者支援について、検討できないか、三点について伺います。

1. 高校通学費の助成についで

質問 全国の自治体では少ない数の実施例があり、新潟県内では、関川村が平成26年4月から、定期券購入額の30%を助成しています。

当町も、町外に通学する生徒

徒が多く、通学費用はかなりの負担となっています。実施を検討できないか伺います。

選択肢が少ない方を優先

町長 当町はインフルエンザ予防接種等医療費の助成も高校卒業まで拡充いたしました。進学先については、公立・私立等様々な選択肢のなかで、各家庭が経済的負担を考慮して選択しています。

選択肢が少ない特別支援学校通学者等に対して、今回、交通費等の支援をしていくことにしましたが、さらに検討して考えていかなければならないと思います。

2. 給付型奨学金の創設を

質問 今、何らかの奨学金を利用する学生は、全体の半数以上です。国の教育ローンを利用した世帯へのアンケート結果によると、高校入学から大学卒業までにかかる費用は平均で子ども1人あたり1032万円と高額です。

当町では無利子の奨学金制

度を実施しておりますが、貸与型の奨学金では卒業と同時に借金となってしまいます。就学意欲のある進学者に対して、返済の必要のない、給付型の奨学金を創設できないか、お考えを伺います。

無利子の奨学金活用を

町長 当町では無利子の奨学金制度を実施しているが、利用者は枠に対して少ないと聞いています。この状況を踏まえて、まず、この制度をどんな活用していただきたい。

3. 奨学金の返還支援を

質問 奨学金を利用した学生の約1割は返済ができて苦しい状態です。国はこの状況を危惧しており、奨学金返還を支援する動きもあるようです。

卒業後に当町にUターンする若者の生活を支援するため、奨学金の返還を支援する事業を当町で行うことについて、どのように考えますか。

Uターン者に奨学金返還支援を考える

町長 個々のご家庭が経済的に検討したうえで、奨学金を利用して学び、その後、Uターンで出雲崎町に帰って定住・就労する若い方たちに、経済的支援は考えていかなければならないと思います。

これから町は、結婚、子育て、教育、仕事等、一貫した流れのなかで何に重点を置けるかをしっかり考えていかなければならない。自治体横並び一線ではだめで、何か起爆剤が必要だと考えます。

経済的格差も是正しなければならぬ。総合的に考え、意見を聞きながらぜひ検討していきたいと思えます。

公的な制度と民間の制度があります

さらに



「給付型」と「貸与型」があります。だれもが「給付型」を望むものですが残念ながらほとんどの奨学金は「貸与型」です

「日本のモナコ」!?

羽黒町

櫻井真理



めばえ教室の様子

私は現在、5才と2才の男の子の子育て真っ最中で、子供のおかげで毎日色々な体験をさせてもらっています。

ありがたい事に出雲崎は、高校卒業までの子供の医療費助成や親子遊び教室などの様々な子育て支援サービスがあり、大変感謝しています。

出雲崎は「日本のモナ

コ」という夫の言葉に半信半疑で嫁いできましたが、歴史や文化の薫りただよう街並み、風光明媚な景色は当たらずとも遠からず?かもしれません。

この様な環境での子育ては町外に住む友人にうらやましがられる程ですが、理想を言えばキリがなく多くの夢や希望が出てきます。例えば、遊具が沢山設置されている公園や遊び場が充実している広い屋内施設(子供支援センター的なもの)、室内温水プールがあったらなどと思っています。

さらに共働き世代が多いので病児保育事業をして頂けると助かる家庭が多いのではないのでしょうか?

これからひまわりハウスの入居が始まると、新しい方々が町に住む事になりますが出雲崎に住んで良かったと言ってもらえたら嬉しいです。

そして近い将来、出雲崎が「日本一子育てしやすい町」としてその名が広まる事を期待しています。

表紙の小話



春です。命が躍動する春です。私たち日本人は、四季それぞれを愛する文化を持ちながら、「春」は何故にこうも特別待ち遠しく、心躍るものなのでしょう。新しい環境に、新しい目標や希望を見いだせるからでしょうか。

3月定例会では、国の地方創生政策を受けて、子育て支援、福祉、地域活性化等を充実するための予算も可決され、それぞれの事業がスタートします。

入学式、見ているだけでこちらまで嬉しくなるような、明るい表情の子どもたち。この笑顔を守らなければなりません。そのために私たちそれぞれが、この町でこの地域で各家庭で、そして人として何が出来るのかを考え、一歩を踏み出す春にしたいものだと思います。(高桑佳子)

編集後記

昨年の広報いずもぎき11月号が、新潟県広報コンクールにおいて、知事賞という最高賞を受賞し全国広報コンクールに推薦されたことは町民として喜ばしく思います。

議会だよりも「読まれる広報」にするため、県の広報研修会の受講や、刈羽村との合同研修会の実施や、他町村の議会だよりを参考にし、「見やすい、読みやすい」内容に心がけていますが、さらに皆様からご意見ご要望等をいただきながらレベルアップをはかっていきたいと思っております。

これから、子育て支援住宅ひまわりハウスに入居していただいた若い人が、出雲崎に住んでよかったと思える活気に満ちた魅力のある町に皆様と一緒にしていきたいと思います。

(加藤修三)